

第3期天草市河浦地域まちづくり計画

～あなたが主役！ 人・もの・自然 ぜんぶ活かしたまちづくり～

天草市 河浦地域

策 定 日	令和5年3月1日
改 正 日	初版

第3期天草市河浦地域まちづくり計画 目次

1	計画のあらまし	1～2
1.1	計画策定の趣旨	1
1.2	計画の性格	1
1.3	計画の期間	1
1.4	計画の体系	2
2	河浦地域の概要	3～7
2.1	位置・地勢	3
2.2	面積・土地利用	3
2.3	人口・世帯数	4～7
3	計画の基本方針	8
3.1	計画の基本理念	8
3.2	部門方針	8
4	分野別行動計画	9～14
4.1	産業経済部門	9
4.1.1	特色・課題	9
4.1.2	具体的な振興方策	9
4.2	観光・文化部門	10
4.2.1	特色・課題	10
4.2.2	具体的な振興方策	10～11
4.3	地域振興・教育部門	12
4.3.1	特色・課題	12
4.3.2	具体的な振興方策	12～13
4.4	保健・医療・福祉部門	13
4.4.1	特色・課題	13
4.4.2	具体的な振興方策	13
4.5	生活環境・防犯防災部門	14
4.5.1	特色・課題	14
4.5.2	具体的な振興方策	14

5	計画の推進体制	15
5.1	実施	15
5.2	評価・改善	15
6	地域別計画	16～31
6.1	第5期宮野河内地区振興計画	16～19
6.2	第5期新合地区振興計画	20～24
6.3	第5期一町田地区振興計画	25～28
6.4	第5期富津地区振興計画	29～32

1 計画のあらまし

1.1 計画策定の趣旨

平成18年3月27日、2市8町が合併して天草市が誕生しました。市内各地域には、素晴らしい自然や独自の文化や歴史、豊かな農林水産資源、さらには、日々の生活で育まれた相互扶助の精神など、全国に誇れる地域資源が数多くあります。

しかしながら、今日、本市においては、人口減少の急速な進展による過疎地域の増加や担い手不足による地域産業の衰退、さらには市民ニーズの多様化や少子高齢化への対応など多くの課題を抱えています。

このような地域社会を取り巻く環境の変化を、住民一人ひとりが「自分ごと」、「みんなごと」と捉え、地域住民と行政協働のもと、地域の特色や個性を活かした活動をできるところから実行し、「地域力」を高めていくことが重要になっています。

まちづくりに関する施策を効果的・効率的に推進するためには、地域住民と行政が一体となって、体系的・計画的に取り組む必要があるため、本地域のまちづくりの指針となる「天草市河浦地域まちづくり計画」を策定し、「未来へ続く魅力ある地域づくり」を推進し、その実現を目指すものです。

今回、第2期天草市河浦地域まちづくり計画を検証し、地域の課題等を再確認するとともに内容の見直しを行いました。

1.2 計画の性格

本計画は、次のような性格を持っています。

- ① 長期的・総合的な視点から、本地域が目指す今後のまちづくりの基本的な方向を示しています。
- ② 本市が策定する「第3次天草市総合計画基本計画」と方向性を共有しながら、地域が主体となって策定する計画として策定します。
- ③ 本地域の地域住民や行政機関のみならず、まちづくり関係団体、企業、学校など、地域全体でまちづくりに取り組む方向性を示しています。

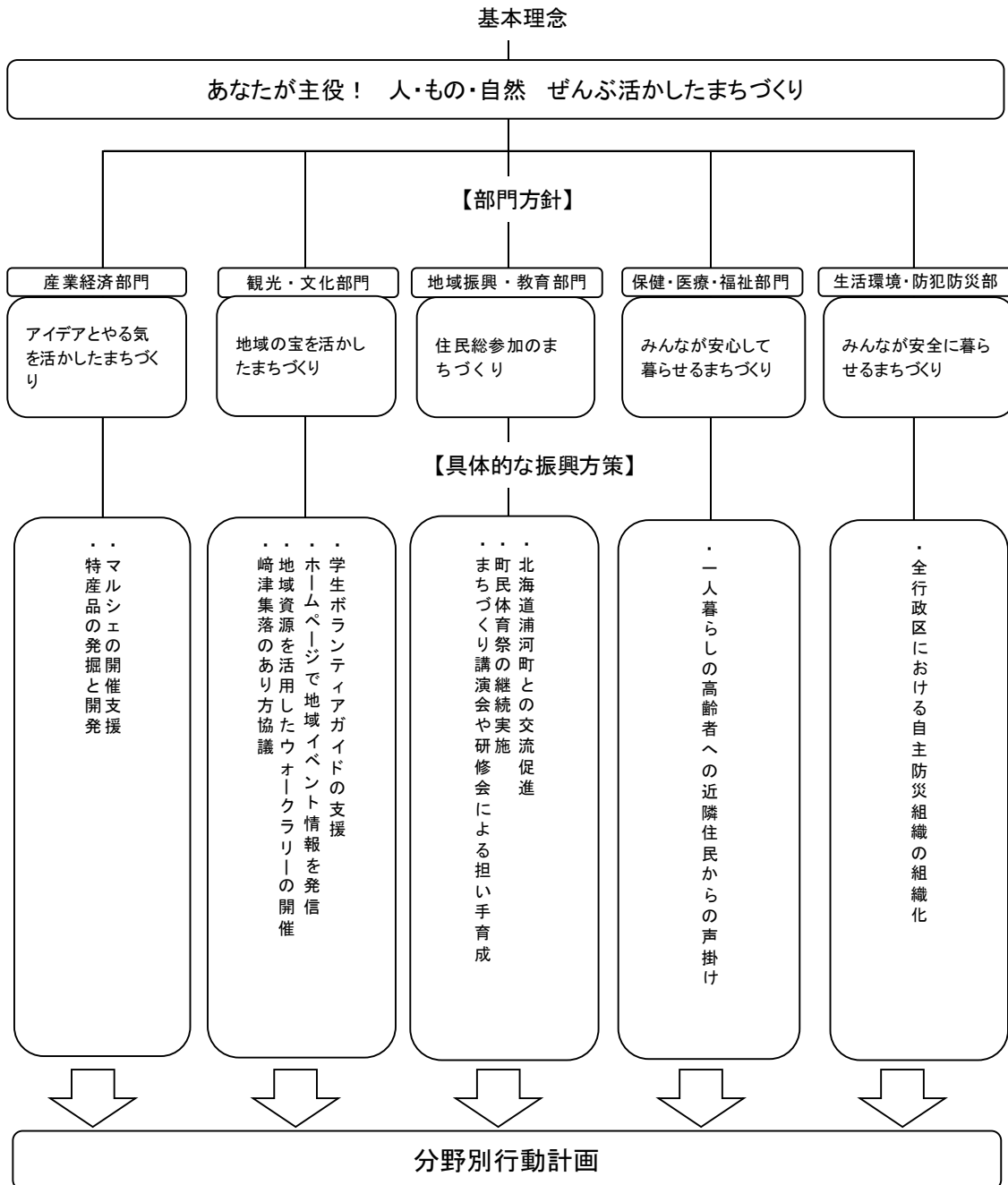
1.3 計画の期間

本計画の期間は、令和5年度から令和7年度までの3年間です。

また、実現すべき施策目標を設定するとともに、その施策目標を達成するために必要な計画を示したものです。

1.4 計画の体系

図1 天草市河浦地域まちづくり計画の方策の体系



2 河浦地域の概要

2.1 位置・地勢

本地域は、宮野河内・新合・一町田・富津の4地区で構成されています。天草下島の中央に位置し、東は不知火海、西は東シナ海に接し、中央を流れる一町田川は羊角湾に注ぎ、河口付近に約150haの水田が広がっています。

産業は第3次産業を主としていますが、農業では米や温暖な気候を活かした柑橘類など、漁業ではエビ・ヒオウギ貝・真珠などの養殖がおこなわれています。

2018年（平成30年）7月には「天草の崎津集落」が世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の一つとして登録され、集落の中に崎津教会があり美しい漁村景観を見ることができます。また、南蛮文化やキリシタンの歴史など多くの資源に恵まれ、市指定無形民俗文化財の「産島八幡宮例大祭」「一町田八幡宮虫追い祭り」が執り行われています。

図2 河浦地域位置図



2.2 面積・土地利用

本地域の総面積は119.34km²で、市面積の約17.5%（表1）を占めています。

土地利用については、農地11%（13.2km²）、山林65%（78.0km²）、宅地1%（1.4km²）となっています。

表1 河浦地域土地面積（平成30年10月1日現在）

	河浦地域	天草市
面積（km ² ）	119.34	683.87
割合（%）	17.5	100

（国土地理院九州地方測量部）

2.3 人口・世帯数

表2 河浦地域の人口、世帯数の推移

区分	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口（人）	5,836	5,219	4,589	3,837
世帯数（世帯）	2,188	2,072	1,920	1,686
世帯当たり人員（人）	2.67	2.52	2.39	2.28

（国勢調査）

図3 河浦地域の人口、世帯数の推移

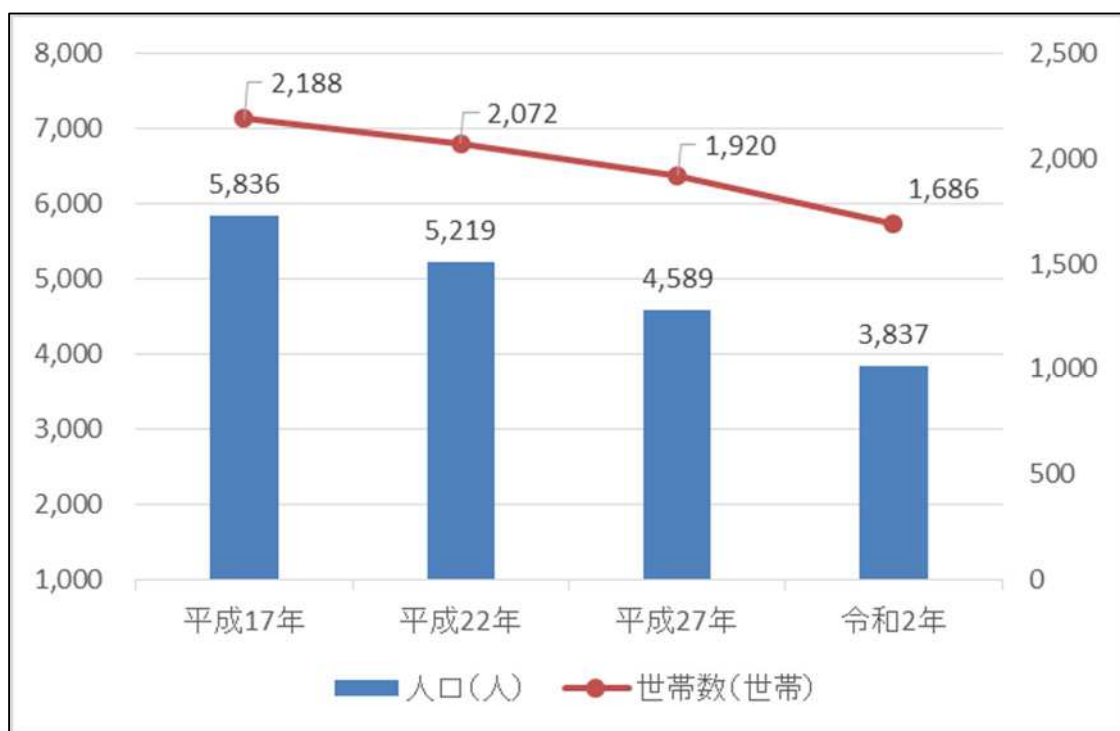


表3 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)	人口 (人)	比率 (%)
総人口	5,836	100.0	5,219	100.0	4,589	100.0	3,837	100.0
0～14歳	740	12.7	543	10.4	408	8.9	313	8.2
15～64歳	2,868	49.1	2,518	48.2	2,123	46.3	1,601	41.7
65歳以上	2,228	38.2	2,158	41.3	2,058	44.8	1,923	50.1

(国勢調査)

※総人口には年齢不詳者を含むため、年齢階層別人口の合計とは一致しません。

図4 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移

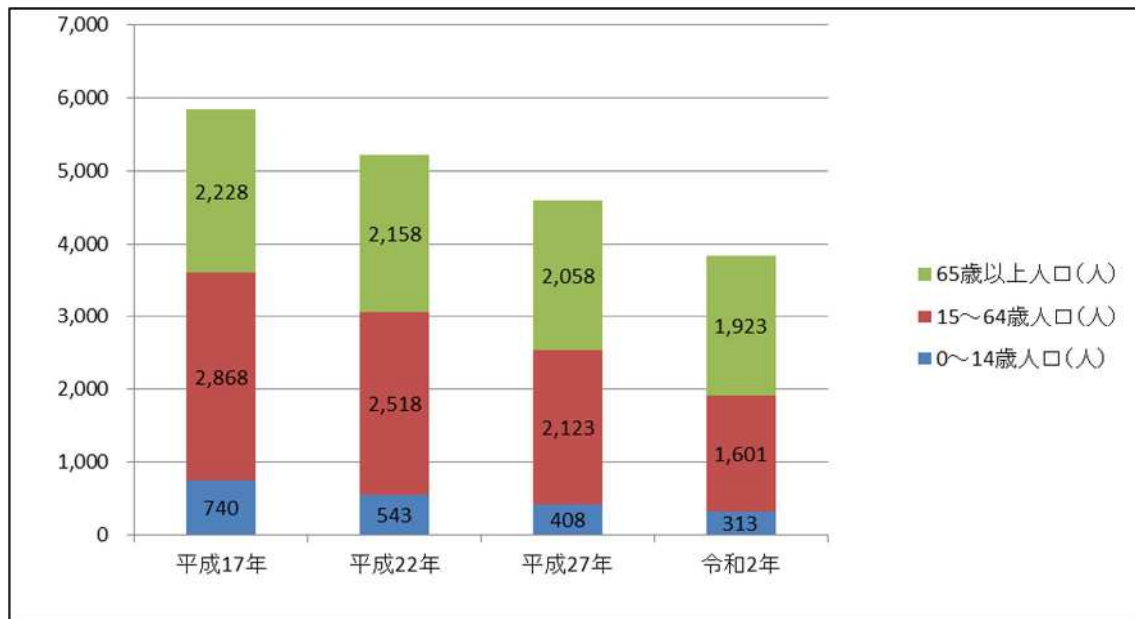


表4 河浦地域の産業別就業者数の推移

区分	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)	人口(人)	比率(%)
就業人口総数	2,509	100.0	2,053	100.0	1,961	100.0	1,688	100.0
第1次産業	641	25.5	435	21.2	448	22.8	354	21.0
第2次産業	405	16.1	273	13.3	261	13.3	239	14.2
第3次産業	1,461	58.2	1,344	65.5	1,251	63.8	1,090	64.6

(国勢調査)

※就業人口総数には産業分類不能者を含むため、産業別就業者数の合計とは一致しません。

図5 河浦地域の産業別就業者数の推移

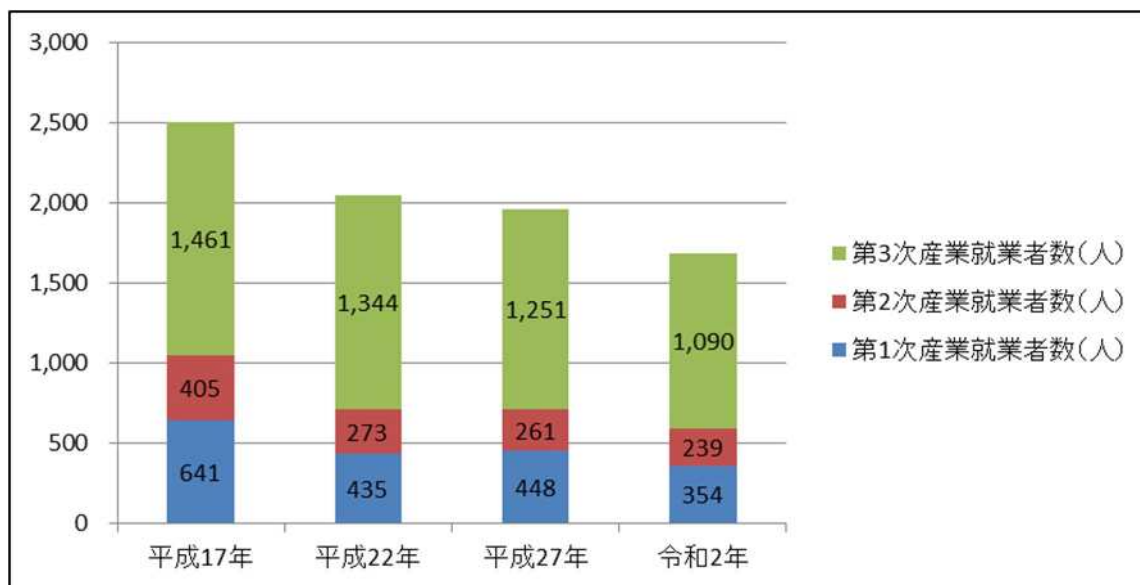


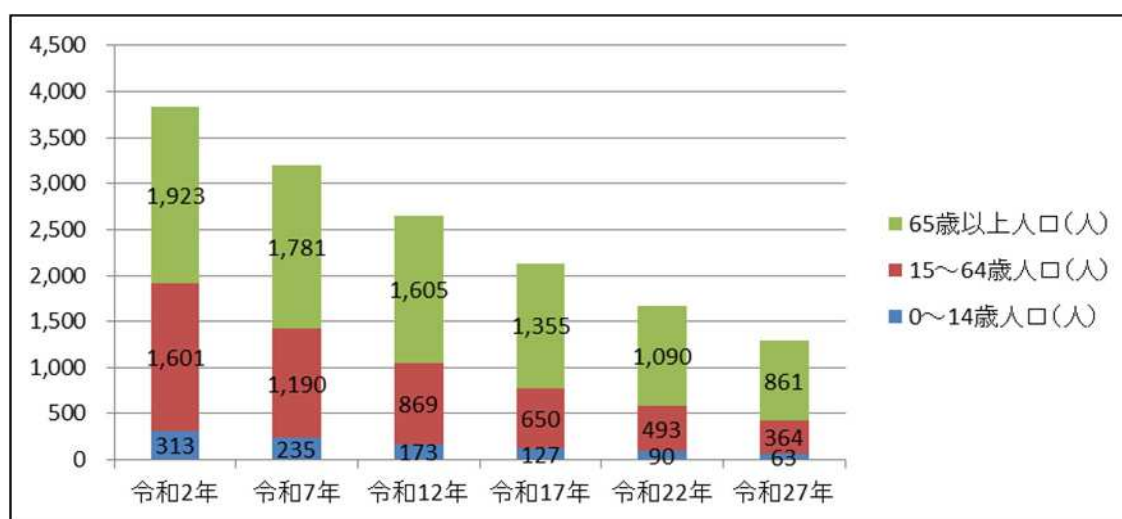
表5 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）

区分	令和2年		令和7年		令和12年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	3,837	100.0	3,206	100.0	2,647	100.0
0～14歳	313	8.2	235	7.3	173	6.5
15～64歳	1,601	41.7	1,190	37.1	869	32.8
65歳以上	1,923	50.1	1,781	55.6	1,605	60.6
区分	令和17年		令和22年		令和27年	
	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）	人口（人）	比率（％）
総人口	2,132	100.0	1,673	100.0	1,288	100.0
0～14歳	127	6.0	90	5.4	63	4.9
15～64歳	650	30.5	493	29.5	364	28.3
65歳以上	1,355	63.6	1,090	65.2	861	66.8

（令和2年：国勢調査、令和7～令和27年：市政策企画課）

※平成22年から平成27年の国勢調査の人口推移を基に、コーホート変化率法を用いて平成32年から平成52年までの将来予測人口を算出。

図6 河浦地域の総人口、年齢階層別人口の推移（将来予測）



3 計画の基本方針

3.1 計画の基本理念

あなたが主役！ 人・もの・自然 ぜんぶ活かしたまちづくり

生活スタイルやまちづくりに対するニーズが多様化・複雑化する中で、地域住民一人ひとりの主体的な取り組みを大切に、地域住民と行政の協働のもと、継続的にまちづくりを実践できるように、様々な課題に計画的に取り組むことが重要になっています。

河浦の良いところ、大切にしたいところを活かし、地域住民一人ひとりが主役となり、身近にあるものや自然を活かし、皆で楽しく取り組みます。そのようなまちづくりの基本理念を「あなたが主役！ 人・もの・自然 ぜんぶ活かしたまちづくり」とし、生きいきとした個性あるまちづくりを推進します。

3.2 部門方針

本計画の基本理念に即し、次のとおり分野別に方針を定め、本地域のまちづくりを展開します。

①【産業経済部門】

アイデアとやる気を活かしたまちづくり

②【観光・文化部門】

地域の宝を活かしたまちづくり

③【地域振興・教育部門】

住民総参加のまちづくり

④【保健・医療・福祉部門】

みんなが安心して暮らせるまちづくり

⑤【生活環境・防犯防災部門】

みんなが安全に暮らせるまちづくり

4 分野別行動計画

4 地区における意見交換会等により、本地域の特色と課題を分野別に洗い出し、地域主体で取り組むもの、地域と行政との協働で取り組むものを分野別に分類しました。

4.1 産業経済部門

4.1.1 特色・課題

特 色	<p>①農業では早期米の栽培、加温ハウス等でのきゅうり等の栽培、晩柑やデコポンの栽培が盛んである。</p> <p>②漁業では宮野河内で車エビの養殖、羊角湾でヒオウギ貝や真珠の養殖が行われ、小型巻網漁や小型底引網漁などが行われ、いりこやみりん干し等の加工品が製造されている。</p>
課 題	<p>①特産品のPRの場が少ない。</p> <p>②第1次産業の後継者不足で耕作放棄地が急激に増加している。</p> <p>③耕作放棄地がイノシシの隠れ場所となりイノシシ被害が更に増加している。</p> <p>④町内に雇用の場所が少なく町外へ働きに出る人が多くなっている。</p>

4.1.2 具体的な振興方策

特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
① ②	①	特産品の発掘と開発(各地域の特産品をふるさと会でPRする。薬草商品の開発を行う。)	ふるさと会で特産品のPR (年2回)				→	市 + まち協 + 振興会	政策 15
① ②	①	マルシェの開催支援(町内の地域おこしグループとも連携し、崎津ガイダンスセンターや漁協等、各コミセンでのマルシェ開催の支援を行い町内の特産品を販売する。)	マルシェの開催支援 (年2回)				→	市 + まち協 + 振興会	政策 15

4.2 観光・文化部門

4.2.1 特色・課題

特 色	<p>①文化的資源としては、世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「崎津集落」と案内施設であるガイダンスセンターやみなと屋、崎津教会を始め、キリスト教伝来期を伝えるコレジヨ館、神社仏閣など見どころが多数点在している。</p> <p>②世界遺産効果でゲストハウスや飲食店が複数営業している。</p> <p>③崎津集落では天草周遊バス利用者を対象に河浦中学校の生徒がガイドを行っている。</p> <p>④自然資源としては、季節により一町田川沿いの桜並木や新合地区国道沿いのさざんかやあじさいなど見どころもある。また、美しい景観の海岸沿いはサイクリングロードとなり来訪者の目を楽しませている。</p>
課 題	<p>①人口の減少に伴い崎津集落内も空き家が増加して解体される家屋や消失するカケやトウヤが増えつつあり、構成資産としての維持が難しくなっている。</p> <p>②世界文化遺産などの文化資源を十分に活かすことができていない。</p> <p>③見どころは多数あるものの、自家用車が無ければ行けない所が多い。</p> <p>④町内の見どころをまとめた案内パンフレットが無い。</p> <p>⑤特色のある土産物が少ない。</p>

4.2.2 具体的な振興方策

特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
① ② ③	① ②	崎津集落のあり方協議（行政、区長を始めとする地域の関係者で崎津集落の情報共有と課題解決について定期的に協議を行う。）	月に1回協議会を開催する。				→	市 + まち協 + 地元関 係者	政策 10
①	②	地域資源を活用したウォークラリーの開催（公民館や振興会と連携して地域にある文化資源等を巡るためのウォークラリーを開催する。）	年3回開催				→	まち協 + 振興会	政策 8 政策 16

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	②	ホームページやSNSで地域イベント情報を発信（まちづくり協議会や振興会のホームページや広報誌を活用する。）	ホームページ随時掲載 広報誌年2回以上発行				→	まち協 +	政策 16
③	②	学生ボランティアガイドの支援（河浦中学校の崎津ボランティアガイドを支援する。）	毎年10名育成				→	市 +	政策 6 政策 16

4.3 地域振興・教育部門

4.3.1 特色・課題

特 色	<p>①各地区振興会により桜まつりや崎津の花火大会等、特色のある行事が行われている。</p> <p>②河浦同志會や絆心会などの若手による地域を元気にする組織があり、相撲大会や花火大会などの特色ある活動が行われている。</p> <p>③天草市合併前から続く、5地区対抗による町民体育祭を毎年開催している。</p> <p>④天草市が友好交流都市連携協定を結んでいる北海道浦河町と、小中学校間の人的交流や双方の特産品の販売を行うなど物的交流を行っている。</p> <p>⑤小学校では、地域住民が出前講座を実施し、中学校では、地域の企業が職場体験学習の受け入れを行い、学校と地域が連携した教育が行われている。</p> <p>⑥社会福祉協議会によるサロンが定期的に行われている。</p>
課 題	<p>①将来の振興会の役員となる若手の意見を反映させる機会が少ない。</p> <p>②スポーツ行事への参加者が減少している。</p> <p>③コロナ禍で浦河交流事業がしにくい。</p> <p>④買い物、交通、子供の通学、通勤等の理由から、町外へ移住する若い家族も多く子供が少なくなっている。</p>

4.3.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
① ②	①	まちづくり講演会や研修会による担い手育成（将来の地域づくりを担う若手に参加してもらえようような講演会や視察研修を隔年で実施する。）	年1回開催				→	まち協	政策 1
③	②	町民体育祭の継続実施（スポーツ推進委員や振興会、区長会と協議の上、高齢者から子供まで参加しやすいグラウンドゴルフやニュースポーツ等を体験してもらい見直しを協議する。）	参加者300人				→	市 + まち協 + 振興会	政策 22

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
④	③	北海道浦河町との交流促進（オンラインや双方の文化を活かした人的交流）	人的交流年1回 物産交流年1回					市 + まち協 + 振興会	政策 6

4.4 保健・医療・福祉部門

4.4.1 特色・課題

特色	<ul style="list-style-type: none"> ① 民生委員、区長が一人暮らしの高齢者宅を巡回している。 ② 社会福祉協議会によるサロンが定期的に行われている。 ③ コミュニティセンターで健康体操教室などが自主的に行われている。 ④ ウォーキングをしている人が多く健康に対する意識が高い。 ⑤ グラウンドゴルフ協会により大会が開催され、多くの高齢者が参加している。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ① 地区によっては住民検診の受診率が低い。 ② 一人暮らしの高齢者が増加し、病院、買い物の移動に制限がある。

4.4.2 具体的な振興方策

特色	課題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短期			長期		
				R5	R6	R7			
①	②	一人暮らしの高齢者への近隣住民からの声掛け（地域が一体となって高齢者の見守りに取り組むために、様々な機会を捉え地域に住む一人暮らしの高齢者への声掛けを周知する。）	声掛けの実施（天草市や社会福祉協議会の事業への積極的な参加）					市 + まち協 + 振興会	政策 19

4.5 生活環境・防犯防災部門

4.5.1 特色・課題

特 色	<p>①各地で定期的にクリーン作戦や市道清掃ボランティア、花の植栽活動が行政区や老人会を中心に行われ、景観等が保たれている。</p> <p>②行政区単位で自主防災組織が設立され、一斉避難訓練や避難所運営の研修会が行われている。</p>
課 題	<p>①住民の高齢化が進み、市道清掃ボランティアを実施できない行政区がある。</p> <p>②自主防災組織が全ての行政区で組織化されていない。</p> <p>③消防団の団員不足や地区内に居住していない団員が増加している。</p> <p>④イノシシ、タヌキ等が住宅地に出没している。</p> <p>⑤空き家が増加し、不在所有者宅は維持管理が行き届かず危険家屋となっている。</p>

4.5.2 具体的な振興方策

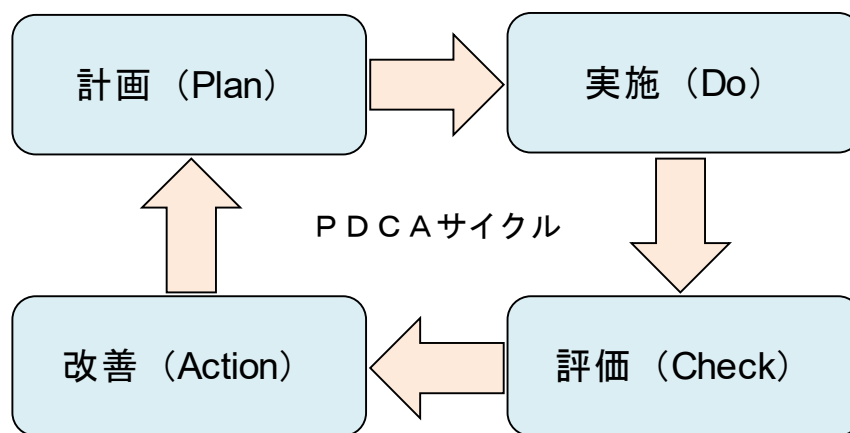
特 色	課 題	具体的な振興方策	目標数値等	実施期間				実施主体	基本計画 対応番号
				短 期			長 期		
				R5	R6	R7			
②	②	全行政区における自主防災組織の組織化（近年の多発する大雨等に地域住民みなで対応するため、行政区単位で自主防災組織を組織し、避難や支援を行う。）	組織率100%				→	市 + まち協 + 振興会 + 行政区	政策 30

5 計画の推進体制

本計画の推進体制については、河浦まちづくり協議会を中心に関係団体及び行政と連携し推進するとともに、進捗状況及び目標の達成度等を年度毎に把握・評価を行い、地域情勢及び社会情勢の変化等も勘案し、必要に応じて計画内容の見直しを行います。

その手法として、計画（Plan）、実施（Do）、評価（Check）、改善（Action）を繰り返すPDCAサイクルを用いて、継続的に計画を改善していきます。

図7 天草市河浦地域まちづくり計画の評価・見直し（PDCAサイクル）



5.1 実施

本計画に基づく施策の実施にあたっては、各実施主体を中心に河浦まちづくり協議会、関係団体及び行政と連携し実施します。また、必要に応じて実行委員会を設置し施策の推進を図ります。

5.2 評価・改善

本計画に基づく施策の実施状況等については、毎年度1回以上河浦まちづくり協議会で評価を行うとともに、社会環境・地域環境の変化等も勘案し、必要に応じて計画の内容を見直します。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	19	
人口(人)	総人口	763
	15歳未満	51
	15～64歳	325
	65歳以上	387
高齢化率(%)	50.7	
就業人口(人)	第1次産業	88
	第2次産業	42
	第3次産業	173
世帯数(世帯)	総世帯数	325
	高齢単身者	96
行政区数(区)	8	
学校	河浦小学校、河浦中学校	
文化財・史跡	へゴ自生地(県:天然記念物)、貨幣石産地(県:天然記念物) 産島八幡宮例大祭・海を渡る祭礼(市:無形文化財)	
その他地域資源	薬師堂の石塔群(西高根)、ハマナデシコ自生地(西高根)、八十八観音石仏(本郷南)、梶木岳からの眺望(女岳)、宗徒様の供養塔(女岳)、上平十五社宮(上平)、産島愛宕様(上平)	
地域伝統芸能	産島八幡宮例大祭(神幸行列、獅子舞、太鼓踊り)	
地域づくり団体	絆心会(地元若手会)、宮友会(宮野河内地区グランドゴルフクラブ)	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>宮野河内地区は、豊かな自然に囲まれ農業と漁業の盛んな地域である。毎年10月に行われる「産島八幡宮例大祭」は、神輿が漁船に乗り海を渡る全国的にも珍しい祭で200年以上の歴史がある。その舞台となる沖合の八代海に浮かぶ産島(うぶしま)は夏になると、釣り、浜遊び、海水浴やキャンプなどの自然と触れ合いに来る観光客で賑わっている。</p> <p>また、産島の対岸に見える宮野河内地区のもうひとつのシンボルである梶木岳(標高242m)の山頂からの景色は、八代海を一望できる絶景でトレッキングなどにおすすめのスポットである。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<ul style="list-style-type: none"> ● 地区内や近隣集落に若者が働ける場所が少ないため、若者の都市部への流出が進んでいる。これに伴い地区では少子高齢化が進み、地区の活力が低下している。 ● 河浦町の他の地区と行き来する公共交通機関がなく、買い物や通院等が不便となっている。 ● 農業者・漁業者の高齢者が進んでいることに加え、後継者不足により地区の産業の先細りが進んでいる。 ● 地区内を通る主要地方道の改良工事が停滞しており、地区の交通の便が良くない。 		



▽▽▽ よつぱつの目標 ▽▽▽

テーマ	人と人が支え合い生きがいのあるまちづくり
考え方	地区の活性化及び住民主体のまちづくりを推進し、住民自治の充実強化と自治組織の向上を図り、新たな地域コミュニティを創造するとともに住民自治体制による民主的な明るい地域づくりを目指す。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	山と海に囲まれた地域で基幹産業は農業と漁業であるが、後継者も少なく従事者の高齢化が進み衰退してきている。	地域の基盤産業を守っていくため、農業と漁業を支える共同組織づくりや後継者育成に取り組んでいく。
【B】 観光 ・ 文化	地区に伝わる伝統芸能を継承する後継者が減少している。	これまで以上に、広く県外にPRするとともに地域全体で協力していく。
【C】 地域 振興	年々人口が減り、イベント等への参加者が減少傾向にある。	内容や日程を検討して参加しやすいようにしていく。
【D】 教育	学校がなくなり地区全体が活気がなくなりコミュニティの活性化が大きな課題となっている。	子供が参加しやすい行事を計画していく。学校と協力して地域資源の学習の機会を増やしていく。
【E】 保健・医療 ・福祉	高齢化が進み行事等への参加者が減少し、更にコロナ禍も合わさって興味が薄れつつある。 一人暮らしの方が増えており孤立しつつある。	高齢者や、一人暮らしの方が安心して暮らせるよう地域づくりに取り組む。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	後継者不足、人口減少によりこれまで守られてきた自然豊かな美しい景観が失われつつある。高齢者の一人暮らしが増加し、医療、犯罪の危険性が高くなりつつある。	現在の景観を地域全体の協力の下、極力維持する。さらなる防犯パトロールの強化に努める。

■第5期宮野河内地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
B	秋の例大祭事業	海を渡る祭礼は地元のみならず県内外から来訪者が訪れるほど魅力がある。近年は人口の減少により主催区だけの開催は難しい状況となっており、振興会も参加者の掘り起こしに協力する必要がある。振興会は地区外の行政区へ、祭りへの協力を依頼すると共に、フォトコンテスト等のイベントを通じて広く魅力を発信していく。	参加者、観覧者合わせて300人					上平区 + 振興会	
C	区対抗ミニバレー大会	地区住民の健康促進と交流を兼ねて、区対抗ミニバレー大会を実施する。今後は、内容や日程を検討し、より参加しやすい大会にしていく。	参加者100人					振興会	
C・D	七夕飾り	老人クラブ等に協力を仰ぎ、昔遊びを通し、子供たちに伝統行事等を伝承し、世代間の交流を進める。	参加者20人					振興会	
C	夏祭り	地元を盛り上げる活動をしている絆心会を中心に、地域住民の心に残る思い出を提供するため開催する。	参加者200人					絆心会 + 振興会	
C	振興会だより発行・ホームページ更新	広報誌やホームページといった情報媒体を活用し、地区の話題や振興会事業の報告を発信する。	広報誌：年3回～4回 ホームページ：通年					振興会	
C	区対抗グランドゴルフ大会	地区住民の健康増進と交流の場として親睦を深め1日を楽しんでもらうため、各区から1～4チーム選出してもらい区対抗グランドゴルフ大会を開催する。	参加者100人					振興会 + 宮友会	
C	敬老会	地区の高齢者の方の長寿を祝うとともに、地区住民の交流を図るため式典や住民参加型の敬老会を開催する。	参加者200人					振興会	
D・F	防犯パトロール	夏休み期間中、青少年のたまり場になりそうな場所や道路の危険な場所、夜間に徘徊している高齢者や釣り人、ウォーキングしている方へ声を掛け、安全で犯罪者の入りにくい地域をつくる。	参加者延べ20人					振興会	
F	クリーン作戦	各区住民により地域の草刈りやゴミ拾いを行い、地域をきれいにするとともに、ふるさとを大切にすることを育む。	参加者100人/年					振興会	
F	花いっぱい運動	道沿いに各区老人会、女性部を中心に花苗を植栽し、花いっぱいのもちづくりを推進する。	参加者70人/年					振興会	
B・C・F	元日登山	地区住民の体力づくりを兼ねて、地区のシンボルの一つである梶木岳の山頂まで登り、元日の日の出を見ながら、一年の安全を祈願し交流を楽しんでもらう。	参加者30人					女岳出、女岳外区 + 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

宮野河内地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期		
				R5	R6	R7	4年以上		
B	昔懐かしい郷土料理教室	地域の食文化の伝承を目的とし、地域のふれあいの機会をつくり懐かしい味を楽しんでもらう。	参加者12人					振興会 + 公民館	
B・C	しめ縄づくり	地区住民を対象に地区で育った稲わらを使って講師に作り方を習い、しめ縄文化の継承に取り組む。	参加者30人					振興会 + 公民館	
B・C	門松作り	地区住民を対象に門松の意味や飾り方、飾る期間などを知り伝統文化に触れる機会をつくる。	参加者30人					振興会 + 公民館	
B・C	健康づくりウォークラリー	宮野河内地区のシンボルである産島と梶木岳の山頂までのウォークラリーを開催し、体力づくりや交流を楽しんでもらう。	参加者各回30人					振興会 + 公民館	
E	出産祝い金	ふるさと応援交付金を活用し、地区内在住者世帯の新生児を対象とした出産祝い金を贈呈し、子育ての支援につなげる。	年間通して実施					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	17.6	
人口(人)	総人口	515
	15歳未満	50
	15～64歳	231
	65歳以上	234
高齢化率(%)	45.4	
就業人口(人)	第1次産業	60
	第2次産業	28
	第3次産業	172
世帯数(世帯)	総世帯数	220
	高齢単身者	94
行政区数(区)	4	
学校	河浦小学校、河浦中学校	
文化財・史跡	お大師様と七鬼神様(市ノ瀬) 立原神社 津留神社 竜王神社(大丸)	
その他地域資源	頭岳 いぼ神様(平床) あじさいロード(立原区一帯) さざんかロード(国道266号線沿い) 桜並木(市平区一帯)	
地域伝統芸能	立原神社の神楽 津留神社の神輿行列と神楽	
地域づくり団体	新合青年部 市平なんかしゅう会	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>地区のシンボルである頭岳は、天草下島南部で2番目に高く、標高が約466mあり、新合地区を代表する地域資源の1つとなっている。また、頭岳を多くの人に知ってもらうために平成25年から「頭岳登山ウォークラリー」や新年恒例行事の初日の出を拝む「元日登山」などを行いながら、地区内外から参加を得て交流を行っている。河浦町の玄関口として、あじさいロードやさざんかロードといった愛称がついた国道266号線には、あじさいやさざんかといった花が季節ごとに咲き、田園風景と合わせて観光客を出迎え心を和ませている。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>少子高齢化が進んでおり、地区の基幹産業である農業は高齢者が営んでいる。一方で、若者は雇用の場所を求め地域を離れていき、地区の祭りや行事を行う際には人手不足になることもある。地区の活動拠点として、平成27年度から閉校した旧新合小学校校舎をコミュニティセンターとして再利用して管理運営を行っている。</p>		



新合地区のシンボル「頭岳」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	人材を育てながら地域創生を目指すまちづくり
考え方	新合地区の自然や文化を大事にし共存しながら、それぞれが役割を持ち活躍できる地域づくりを目指す。

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業だけでは生計が成り立たないため兼業農家が多く離農者が増えているので、農地を荒らさない対策を検討中である。 ・産業の後押しをする協力体制を整える必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと宅配便に関しては、かけ干しを行う農家の減少に伴い、コンバインで刈入れた米も新合地区で採れた安心米として提供していくことで、生産量や供給量を確保していく。 ・ホームページなどを利用し、情報発信を行っていきながら新規需要を開拓していく。 ・生産者へ出荷に関するアンケートを行う。 ●ふるさと宅配便
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区でそれぞれ祭りなどが執り行われているが、祭りを継承する次の世代が減少し問題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道浦河町との友好交流事業の協力体制を強化するため研修会や交流会を取り入れていく。 ・津留神社、立原神社の歴史は特に古く、津留神社秋祭りの神幸行列は、県内外からカメラマンが訪れる。そのカメラマンを通じて情報を発信したり、立原神社とゆかりのある浦河町との交流事業で神楽や太鼓踊りなどを披露する機会を設け、地域間交流を推進しながら故郷の魅力を再発見する取り組みを行う。 ●浦河町交流事業
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・球技大会、グラウンドゴルフ大会等を行いながら、地域住民の交流を深めている。また、地区のシンボルである頭岳には年間を通じて登山客があり、平成25年度からは頭岳登山ウォークラリーを開催している。地区外からの参加もあり、新合地区に興味をもってもらえているが、参加者の年齢層に偏りがあるため内容の見直しも必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいるので、大会等を現状の規模で開催するために住民が楽しんで参加できるように事業の見直しを行っていく。 ・ホームページやSNSなどを十分に活用し、魅力ある地域であることをアピールしていく。 ●新年祝賀式 ●新生活運動 ●元旦登山 ●頭岳ウォークラリー ●地区球技大会 ●敬老会 ●グラウンドゴルフ大会
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業と連携し、学べる講座などを行っている。 ・地域を見守るため、ボランティア活動などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き公民館事業と連携して、生涯学習に繋がる学べる講座などを開講(陶芸・手芸・生け花)し、自主学習グループに対しての支援を行っていく。また、子育て世代を対象に体験型学習(竹細工など)や伝統文化(鬼火焼きなど)の伝承などを推進する。 ●青少年育成事業

■第5期新合地区振興計画

地区振興会名

新合地区振興会

<p>【E】 保健・医療 ・福祉</p>	<p>・各種講座や各老人クラブで行っているサロン等を有効活用し、安心して暮らせる体制を整える。また、地域住民に天草市健康ポイント事業への参加を促していく。</p>	<p>・健康福祉に関するテーマで講演会や交流会を計画し、引きこもり防止のために独居老人世帯への声掛けや子供との交流会を計画し、天草市健康ポイント事業への参加を促していく。また、伝統文化や史跡についても地域伝承交流会等を開催していく。 ●各種講座</p>
<p>【F】 生活環境 ・ 防犯防災</p>	<p>・高齢者へ定期的に声掛け等を行っている。 ・公民館事業の中で、防災講座を行いながら担当者の役割を確認していく。 ・事故多発地帯となっている場所での交通安全強化を行う。</p>	<p>・各区の自主防災組織の活動(普通救命講習会、消火訓練、防災避難訓練、防災講座)を支援し、関係者の協力体制を整えていく。 ●自主防災活動 ●花いっぱい運動</p>

■第5期新合地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
A	ふるさと宅配	事業を開始して10年となる。郷土出身者へ地元でとれたお米や野菜などを送り、農業所得の向上や情報交換の機会としている。	出荷量の増加を目指し、作業工程(かけ干し・機械刈り)に拘らず新合米として販売する。新規顧客を増やす。	→				振興会	
C	新年祝賀式	役員等が集まり新年のあいさつを交わしあう。	役員、地区担当者参加者25名	→				振興会	
C	新生活運動	派手なお礼やお返しなどはやめて最低限のことをしていく。取り決めたものを各世帯へ配布する。	年度初めに各世帯へチラシを配布し、周知を図る。	→				振興会	
C	元旦登山	地区のシンボルである頭岳へ登り、初日の出を見て一年の祈願を行い参加者の交流を楽しむ。	参加者40名	→				振興会	
C	頭岳ウォークラリー	地区のシンボルである頭岳へ登り、参加者の体力づくりや、交流などを楽しむ。継続して参加してもらえるように趣向を凝らす。	参加者60名 登山道の整備を行う。	→				振興会	
C	地区球技大会	3種目で競技を行っているが参加者が減少している。引き続き競技行うことで参加者の体力向上に繋げていく。	参加者120名	→				振興会	
C	敬老会	70歳以上の高齢者へ感謝の気持ちを込めお祝いする会で、式典と演芸の部の2部構成で行う。	出席率46%を60%に上げる。	→				振興会	
C	グラウンドゴルフ大会	協会会員、一般、子どもと幅広く募集し、地区住民の親睦を図るとともに、体力の向上や引きこもり予防などを目的として行う。	健康維持に繋げていく。	→				振興会	
D	青少年育成事業	しめ縄、わらじ作りなどの伝統文化の体験型学習など通して、高齢者との交流を取り入れ継承を行い地域活性化につなげていく。	子ども会などで集まり、交流や活動を増やす。	→				振興会 + PTA	
E	各種講座	フラダンスやハーモニカ教室の開催と共に、公民館と共催して野草講座等を行い、野草散策コース(モデルコース)の設定や料理教室などを開催する。	参加者を募りながら地区振興改革につなげる。	→				行政 + 振興会	
F	自主防災活動	地域の安全に心掛け、安心して暮らしていける地域づくりを目指す。また、救命講習会・消火訓練・避難訓練などを行うよう指導する。	普通救命講習会(参加者20名ほど) 災害避難訓練 防災講座(年1・2回程度)開催	→				行政 + 振興会	
F	花いっぱい運動	団体、グループなどで道路沿いに季節の花などを植栽し、景観を見守る。	観賞できる場所の整備や協力団体への支援の強化を行う。	→				振興会 + 各団体	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

新合地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	浦河町交流事業	市と協力し、友好交流事業を充実させる。研修会や交流会など積極的に行う。	伝統文化の披露、体験学習会などを開催する。					行政＋振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	61.1	
人口(人)	総人口	1,889
	15歳未満	158
	15～64歳	765
	65歳以上	966
高齢化率(%)	51.1	
就業人口(人)	第1次産業	154
	第2次産業	118
	第3次産業	554
世帯数(世帯)	総世帯数	798
	高齢単身者	190
行政区数(区)	13	
学校	河浦小学校、河浦中学校	
文化財・史跡	六郎次山(国:名勝)、一町田八幡宮虫追い祭り(市:無形民俗文化財) 薬師寺のナギ(市:天然記念物)、轟橋(市:建造物)、巖戸山観音寺の板碑 (市:建造物)	
その他名所・旧跡・地域資源	河内浦城跡、下田城跡、南蛮船碇泊所跡、アルメイダ上陸地跡、信福寺 安養寺、崇円寺、一町田八幡宮、古江大神宮、他地域の神社、八十八観音石 仏(中村区・主留区)、コレジヨ館、コレジヨ庭園	
地域伝統芸能	一町田地区虫追い祭り 一町田八幡宮例大祭 一町田八幡宮寒詣 各地区例大祭	
地域づくり団体	河浦同志會	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>一町田地区は、河浦町の中央に位置し、無形民俗文化財に指定された一町田八幡宮虫追い祭りやコレジヨ庭園など歴史文化資源や農産物にも恵まれている。また、縁結びの神で知られる古江大神宮や崇円寺(河内浦城跡)、轟橋などの観光資源も多く点在する。秋には各地区で例大祭を行い、伝統行事の存続継承もされている。また、近年は釜新田などには冬場に鶴が飛来し、地域の人たちの話題を呼んでいる。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>少子高齢化に歯止めがかからず、地区の人口は減少するばかりであり、地区の行事自体の存続が危ぶまれている状況である。また、それに伴い、事業への参加者が固定されつつあるため、一部住民の取り組みになってしまっている。また、農業者の減少や身近な施設の統廃合や空家の増加が進み、今後、交通難民や買い物難民の増加が危惧される。</p>		



一町田河川敷のつつじと桜

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	支えあいつながりあって地域を活かす
考え方	<p>少子高齢化が進み高齢化率が既に50%を超える現状を踏まえ、住民が安心して暮らすために、地域の互助意識を高め、支えあいつながりあって地域活性化を目指す。</p>

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・農業が基盤産業である。 ・耕作放棄地が増えている。 ・中山間地域の耕作放棄地が増加傾向にあるため、農事組合の法人化を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の現状を把握し、有効利用できるような方向性を探る。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・一町田地区虫追い祭りの際は、写真家をはじめ、たくさんの来場者がある。 ・地区の歴史に由来する史跡や名所が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域が一体となった取り組みを実施する。 ●虫追い祭り事業 ●歴史探訪ウォークラリー
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり団体との連携ができていないので今後検討をする。 ・年々人口が減り、イベント等の参加者が減少傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの町民が参加できる事業を実施する。 ●さくらまつり事業 ●公民館の整備事業 ●古江大神宮活用
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・統合された小中学校が地区内にあり、各学校、各地区振興会と連携を図り、子ども達の郷土愛を育てる事業を行う。 ・公民館と共催して生涯学習を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の住む地域への郷土愛を育てる。 ●青少年育成事業 ●竹灯籠作りと昔懐かしい遊び及びしめ縄作り
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が50%を超え、今後も増加することが予想される。住民みんなが安心して元気に暮らせるまちづくりを進めるための体制づくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民みんなが安心して暮らせるまちづくりを推進する。 ・健康増進を目的としたスポーツ大会や、コミュニティセンターで開催されている自主活動への支援。 ●町内スポーツ大会参加事業 ●高齢者健康福祉事業 ●一人世帯見守り事業
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・道路愛護作業は各区で積極的に取り組まれている。花いっぱい運動は、限られた行政区だけになっているので、今後、支援体制を見直す必要がある。 ・行政区ごとの自主防災組織結成の推進を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然豊かな環境を後世に残すための取り組み ●地域愛護事業(道路愛護作業、花いっぱい運動) ・安心安全で快適な町づくり ●自主防災組織
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報を住民にお知らせしたり、ふるさとを離れた方に向けた情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域情報を発信する。 ●地域情報発信事業(会報誌の発行、ホームページの更新、Facebookへの投稿)

■第5期一町田地区振興計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	虫追い祭り事業	旗竿競技・各種バザー・フォトコンテスト・ゲートボール大会・シーカヤック体験を行う	来場者200人以上					振興会	
C	さくらまつり事業	青少年音楽祭・グラウンドゴルフ・ウォーキングを行う	参加者300人以上					振興会	
C	公民館の整備事業	建物修繕や設備機器の整備等必要経費の補助(上限10万円)	年間通して実施					振興会	
D	青少年育成事業	河浦小学校6年生校外学習実施	河浦町内6年生全員参加					4地区振興会	ふるさと応援交付金活用
E	町内スポーツ大会参加事業	エンジョイミニバレー大会・町民体育大会	各大会150人以上参加					まち協＋振興会	
E	高齢者健康福祉事業	敬老会の開催	年1回開催					振興会	
F	地域愛護事業	各区で除草作業や花いっぱい運動を行う	年1回:13区					振興会＋各区	
H	地域情報発信事業	会報誌の発行、ホームページ更新、Facebookへの投稿	会報誌:年4回 HP、Facebook:随時					振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

一町田地区振興計画 行動計画

②新たに取り組むべき事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	歴史探訪ウォークラリー	地域内の文化や歴史について学ぶことを目的に、史跡や名所をめぐるウォークラリーを開催する。	年間通して実施	→				公民館 + 振興会	
C	古江大神宮活用	看板設置 ウォーキングコースの整備	3年後には完了	→				振興会 + 近隣区	
D	竹灯籠作りと昔懐かしい遊び及びしめ縄作り	小学生を対象に地元の方と一緒に作成し、竹灯籠はイルミネーションとして飾る。	年間通して実施	→				公民館 + 振興会	
E	一人世帯見守り事業	隣近所へ声掛けをする。	年間通して実施	→				振興会 + 各区	
F	自主防災組織	自助共助意識を高め、災害に強い町づくりを目指すために結成の推進をする。	3年後100%	→				振興会 + 各区	

※実施主体は「主體的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

地区の概要(R2国勢調査参考)		
面積(km ²)	20.6	
人口(人)	総人口	670
	15歳未満	54
	15～64歳	280
	65歳以上	336
高齢化率(%)	50.1	
就業人口(人)	第1次産業	52
	第2次産業	51
	第3次産業	191
世帯数(世帯)	総世帯数	335
	高齢単身者	106
行政区数(区)	8	
学校	河浦小学校、河浦中学校	
文化財・史跡	世界文化遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「天草の崎津集落」 天草市崎津・今富の文化的景観(国指定)、鬼塚古墳(市史跡)	
その他地域資源	天草夕陽八景(2か所) ①マリア像の夕陽 ②拝瀬・鳴瀬の夕陽 遠見番所跡、琉球王使節船漂着地、紋付屋旅館跡(崎津観光交流広場) 八十八観音石仏(大川内区)、チャペルの鐘展望公園、崎津資料館みなと屋 崎津集落ガイドダンスセンター、つどい処まつだ、よんなっせ	
地域伝統芸能	崎津諏訪神社大祭、今富神社大祭、崎津ハイヤ踊り	
地域づくり団体	教会の見える崎津みなとのフェスティバル実行委員会 花づくり団体(8団体)	
地区のいいところ・自慢できるところ		
<p>「天草の崎津集落」は「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として、平成30年(2018年)7月に世界文化遺産に登録された。「海の天主堂」と呼ばれる「崎津天主堂」(昭和9年建設)はそのシンボルで、集落と自然が一体となって他では見ることのできない美しい景観をつくり出している。また、この一帯は雲仙天草国立公園に位置し「日本の渚・百選」で「キリシタンの里 崎津」、「日本のかおり風景百選」では海(潮)のかおりで「河浦崎津天主堂と海」、そして「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選」に選ばれている。</p> <p>夏には「教会の見える崎津みなとのフェスティバル」が開催され、冬には「天草ロマンティックファンタジー」として教会周辺のイルミネーションが行われている。</p> <p>今富地区には多くのキリシタン文化の史跡がある。小島地区には海上コテージという宿泊施設があり人気の観光スポットとなっている。</p> <p>羊角湾では戦後すぐから真珠の養殖が行われ良質の真珠が採れることで有名である。また、ヒオウギ貝の養殖も行われ、特産品として定着している。</p> <p>伝統の食文化としてアジやアンコウの干物、ジャガイモを使った「せんだご汁」がある。琉球王使節船が漂着したとき伝えられたといわれる「杉ようかん」やいちじく(南蛮柿)を使った菓子も販売されている。いちじく(南蛮柿)はキリスト教と共に伝えられたという。宣教師が伝えたといわれるクレソンも自生している。</p>		
地区が抱える課題・困っていること		
<p>少子高齢化のスピードが著しく高齢化率は50%を超えている。地区の人口は減少するばかりで、行事の存続が難しく振興会事業の取り組みも役員のみでの参加となりつつある。</p> <p>基盤産業である漁業・農業の不振など、地域経済の見通しも大変厳しい。また、交通手段が少なく、車がなければ通勤・通学・通院など、日常生活がしづらい状況である。地区には食料品の店舗が1軒しかなく、移動販売車が訪れる地域もあるが、高齢者は買い物にも普段の生活にも不自由している。</p>		



世界文化遺産の構成資産「天草の崎津集落」

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	世界文化遺産を活用した「崎津・今富」の魅力発信と保全
考え方	世界文化遺産である崎津・今富地区の景観の保全や地域の魅力を高める活動を行い、地域振興につなげる。また、高齢者が安心して暮らせるよう、互助意識を今以上に高めていく。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	<ul style="list-style-type: none"> ・崎津集落ガイダンスセンターは道の駅であるが情報発信型の道の駅というコンセプトであり地域の物産の販売は行っていない。 ・物産品を販売する場所がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・崎津ガイダンスセンターの軒先や駐車場の利用はできるということなので、それらを活用し、マルシェ開催の際は窓口となるなど協力する。
【B】 観光 ・ 文化	<ul style="list-style-type: none"> ・世界文化遺産となった崎津集落がある。 ・観光資源は豊富であるが、それらを生かし切れていない。 ・今富地区の振興が遅れている。 ・琉球王使節船漂着地、さくら公園の草刈りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・景観保護を推進する。 ・今富地域の振興を図る。 ・さくら公園整備事業を推進する。
【C】 地域 振興	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少が激しく空き地、空き家が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き地、空き家の把握を行い、活用方法を検討する。
【D】 教育	<ul style="list-style-type: none"> ・若い世帯の減少が著しく子どもの数が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちへの教育支援を行う。
【E】 保健・医療 ・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が50%を超え、今後も増加すると思われ、住民みんなが元気に安心して暮らせる地域づくりが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者がいつまでも健康で安心して暮らせる互助体制づくりへの取り組みを行う。 ・出産祝金、入学祝金などの子育て支援を行い若い世帯の定住を図る。
【F】 生活環境 ・ 防犯防災	<ul style="list-style-type: none"> ・年1回防災訓練、避難訓練を実施している。 ・ゴミ出し、資源ごみ出しのルールを広く周知する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体で地区の安全を守る ・環境美化活動の推進を図る。
【H】 総務・企画	<ul style="list-style-type: none"> ・住民へ地域の情報の発信を行う。 ・SNSを使つての情報発信を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振興会広報の発行を行う。 ・ホームページを更新する。 ・Facebookでの発信などを行う。

富津地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間				実施主体	備考
				短期			長期 4年以上		
				R5	R6	R7			
B	琉球王使節船漂着地管理	歴史ある地域資源を守るため、漂着日である7月16日前後の日曜日に振興会会員で草刈り清掃作業を行う。	年1回実施する	→				振興会	
B	さくら公園管理	大切な地域資源を守る観点から草刈り清掃作業を実施する。桜の生育があまり良くないので、新たに桜の生育を良くする取り組みを行う。	年2回実施する	→				振興会	
C	先進地視察研修	先進地の取り組みを地域づくりの手本とするため、参考となる地域を視察し活動内容の見直し充実を図る。	年1回実施する	→				振興会	
D・E	子育て応援・教育支援事業	ふるさと応援寄付金を活用し、赤ちゃん誕生時に誕生祝金を、小学校入学時には入学祝金を贈り、若者定住促進事業として実施している。また小学6年生を対象に校外学習を行い、小中学校卒業生へのコースジュ贈呈などの教育支援の取り組みも行っている。	若い世帯の定住	→				振興会	
E	グラウンドゴルフ大会	年代に関係なく世代間交流ができるイベントとして全地区住民を対象に実施する。	年3回実施する	→				振興会	
E	敬老会	9月の敬老の日前の日曜日に実施する。歌や踊り等の余興を見てもらい、楽しく敬老をお祝いする。	75歳以上の住民が対象	→				振興会	
E	高齢者支援事業(愛の一声運動)	75歳以上ひとり暮らしの高齢者宅を昼間の時間帯に訪問し、世間話をしながら健康状態や困りごとがないかを確認する。	年1回実施する	→				振興会	
E	町民体育大会	スポーツ振興や健康増進のため、エンジョイバレーボール大会、球技大会に参加する。	参加者の確保	→				まち協 + 振興会	
F	富津ふるさとクリーン作戦活動支援	住民総出でゴミ・缶・ビン拾いを行い、世界遺産としての環境衛生・美化に努めていく。	年1回実施する	→				区	
F	地域防災活動事業	市の避難訓練に合わせ、災害時速やかに避難が行えるよう訓練を行う。	年1回9月に実施する	→				区	
F	花による魅力ある地域づくり運動支援	年間を通して花のある地域づくりを行い、癒しの空間となるよう努め、来訪する観光客へ花でのもてなしを行う。	現在8団体	→				各団体 + 振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」を記載。

